

第76回日本臨床眼科学会

- 日時** 2022年10月13日(木)～16日(日)
- 会場** 東京国際フォーラム (〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1)
JPタワーホール&カンファレンス (〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-7-2)
- 学会長** 飯田知弘 (東女医大)
- 副学会長** 福下公子 (東京都眼科医会)
- プログラム委員長** 瓶井資弘 (愛知医大)
- テーマ** 「継承と創造, そして未来へ」
- プログラム** 特別講演
「緑内障における前房隅角の病態診断と治療介入」久保田敏昭 (大分大)
「網膜静脈閉塞症の病態理解と治療戦略」辻川明孝 (京都市大)
- 招待講演
「The development of innovations in ophthalmology」Eugene de Juan Jr (University of California, San Francisco, USA)
「オートファジーから見えてきた細胞像」大隅良典 (東京工業大・科学技術創成研究院・細胞制御工学研究センター)
- シンポジウム
「前眼部・外眼部外傷の攻略法 Pit & Falls」
「エビデンスに基づく新しい診療ガイドライン」
「難治性緑内障の治療戦略」
「低侵襲緑内障手術のファクトチェック～理想と現実」
「Beyond コロナ時代の糖尿病網膜症診療」
「抗 VEGF 療法の限界・問題点と対策」
「眼感染症におけるニューウェーブ」
「眼内リンパ腫の診断と治療のアップデート」
「小児眼科検査を考える」
「チャレンジ視機能評価」
「網膜疾患・緑内障薬物治療の新しい局面」
「視覚障害者が活用する ICT 機器」
「眼科医療と眼鏡作製技能士国家検定資格—眼鏡技術者と眼科医の連携を考察する」
「特定健診における眼底検査のリポジショニング」
「眼内レンズの今」
「継承と創造, そして未来へ—黄斑疾患」
「継承と創造, そして未来へ—網脈絡膜疾患」
「継承と創造, そして未来へ—角膜疾患」
「継承と創造, そして未来へ—緑内障」
「眼科啓発活動への期待と展望」
- 視能訓練士プログラム
「超高齢社会に向けた視能訓練士の役割を考える」
- 病医院運営プログラム
「GIGA スクール構想にむけた眼科医の役割」
- ナーシングプログラム
「コロナ禍において, 今までと何が違う?—眼科看護のヒト・モノ・情報を見出す」
- 一般講演, 学術展示, インストラクションコース, 共催セミナー, 市民公開講座

参加登録費

参加区分	当日登録
医師	25,000 円
研修医 ^{*1} 〔新臨床研修医制度 4 年目（後期研修 2 年目）まで〕	10,000 円
大学院生、留学生、コ・メディカル ^{*1}	10,000 円
コ・メディカルサnderパス〔10/16(日)のみ参加〕 ^{*1}	3,000 円
非医師・民間研究員	25,000 円
学生（医療系）・初期研修医 ^{*1,2}	無料
抄録集発送費用	1,000 円

^{*1}：「研修医」，「大学院生，留学生，コ・メディカル」，「コ・メディカルサnderパス〔10 月 16 日（日）のみ参加〕」，「学生（医療系）・初期研修医」は，主任教授または所属長等の証明書または学生証の写しが必要です。

^{*2}：「学生（医療系），初期研修医」の無料参加区分の方は，抄録代は含まれておりません。ご希望の場合は，会期当日にご購入ください。（抄録集：1 冊 5,000 円）

ホームページ <https://convention.jtbcom.co.jp/76ringan/index.html>

運営事務局 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン 事業共創部コンベンション第二事業局内（〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 2-1-25 JTB ビル 8 階）

E-mail：76ringan@jtbcom.co.jp

※運営事務局は在宅勤務をしております。お問い合わせはメールでお願いします。

第 59 回六大学合同眼科研究会

日 時 2022 年 9 月 3 日（土）13 時 30 分 開会予定

会 場 九州大学医学部百年講堂大ホール

特別講演 西口康二（名古屋大学大学院医学系研究科眼科学分野教授）

連絡先 九州大学眼科学教室（〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1） 医局長：納富昭司

Tel.092-642-5648 Fax.092-642-5663 E-mail：oculus@med.kyushu-u.ac.jp

研究会は日眼生涯教育事業（1 日 3 単位）に認定されている。

第 141 回青森眼科集談会（日眼生涯教育事業 No. 59060）

日 時 2022 年 9 月 25 日（日）9：30～15：00

会 場 弘前大学医学部健康未来イノベーションセンター（〒036-8562 弘前市在府町 5）

特別講演 演者：上野真治（弘前大）

連絡先 弘前大学大学院医学研究科眼科学講座（〒036-8562 弘前市在府町 5）

責任者：上野真治 講座事務局：田澤美賀子

Tel. 0172-39-5095 Fax. 0172-37-5735 E-mail：retina@hirosaki-u.ac.jp

第 33 回日本緑内障学会

日 時 2022 年 9 月 16 日（金）～18 日（日）

会 場 パシフィコ横浜（〒220-0012 横浜市区みなとみらい 1-1-1）

会 長 鈴木康之（東海大）

副会長 宇津見義一（神奈川県眼科医会）

テーマ 緑内障研究の地平

プログラム 須田記念講演「緑内障の構造から機能へ，そして QOL へ」福地健郎（新潟大）

招待講演「New Insight into the Pathogenesis of Glaucoma」Ki Ho Park（Seoul National University, Korea）

特別講演「イメージングによる脳神経回路の発達とその障害の理解」岡部繁男（東京大・神経細胞生物学）

特別セッション Japan Asia Symposium（English Session）：「MIGS in Asia」

シンポジウム

- 「濾過手術の適応を考える 2022」
- 「Neuroscience から見た緑内障」
- 「PACS の治療介入 ～To do or not to do, that is the question～」
- 「点眼アドヒアランスと緑内障長期管理」
- 「新しい視点からの低侵襲緑内障手術の評価 MIGS from new viewpoints」
- 「緑内障病態にかかわる細胞間ネットワーク」
- 「緑内障ゲノム研究の臨床応用」
- 「緑内障治療：眼圧下降だけで十分ですか？」
- 「次世代画像検査と緑内障診療」
- 「緑内障診療研究への AI の活用の実情と今後」
- 「新しい緑内障診療のスタイル：オンライン診療、訪問診療など」
- 「患者依存の少ない緑内障診療の最新事情」
- 「緑内障視野—検査と評価の最新アップデート」

教育講演

- 「最短最速でおさらいする緑内障治療」
- 「緑内障術後管理、合併症からのリカバリー」
- 「緑内障早期診断の意義と課題」
- 「現在眼科診療における視神経乳頭の見方と活用」

研修医・コメディカルプログラム

- 「OCT による緑内障診療」
- 「緑内障診療における重要課題とエビデンス」
- データ解析委員会特別セッション/研究プロジェクト 支援事業報告
- 一般演題〔口演・e ポスター（ショートトークあり）〕
- 共催セミナー（モーニング・ランチョン・イブニング）
- 市民公開講座

参加登録費

区分		当日参加登録
医師・教育研究機関研究員	会員	20,000 円
	非会員	23,000 円
企業職員		22,000 円
メディカルスタッフ*	会員	8,000 円
	非会員	10,000 円
研修医*		10,000 円
学生（大学院生を除く）		無料

* 新臨床研修医制度 3 年目（後期研修 1 年目）まで

* メディカルスタッフ・研修医の方は、所属長の証明が必要

学会ホームページ

<http://www.congre.co.jp/jgs2022/>

事務局

東海大学医学部医学科専門診療学系眼科学（〒259-1193 伊勢原市下糟屋 143）

運営事務局

株式会社コングレ（〒103-8276 東京都中央区日本橋 3-10-5 オンワードパークビルディング）
Tel. 03-3510-3701 Fax. 03-3510-3702 E-mail: jgs2022@congre.co.jp

第 42 回日本眼薬理学会

日 時

2022 年 10 月 29 日（土）・30 日（日）

会 場

奈良春日野国際フォーラム 薨～I・RA・KA～（〒630-8212 奈良市春日野町 101）

- 会 長** 松木 雄（参天製薬株式会社）
主 催 参天製薬株式会社製品開発本部
プログラム 特別講演
（予定） 「角膜難治性疾患の基礎と臨床」座長：村上 晶（順天大），演者：西田幸二（大阪大）
「眼薬理の基礎研究と臨床応用への展望」座長：相原 一（東京大），演者：嶋澤雅光（岐阜薬科大・薬効解析学）
シンポジウム
「視覚再生/オプトジェネティクスと創薬」「遺伝性網膜疾患の臨床と創薬の展望」「アドヒアランス～確実な薬効発現のために～」
学会奨励賞選考，一般演題，共催セミナー，企業展示他
当日参加登録費 会員：8,000 円，非会員・企業：10,000 円，学生：2,000 円
ホームページ <https://convention.jtbcom.co.jp/jsop42/>
問い合わせ先 第 42 回日本眼薬理学会運営事務局
株式会社 JTB コミュニケーションデザイン 事業共創部 コンベンション第二事業局内
（〒 541-0056 大阪市中央区久太郎町 2-1-25 JTB ビル 8F） E-mail：jsop42@jtbcom.co.jp
新型コロナウイルスの感染拡大防止のためテレワークを実施中です。メールにてご連絡ください。

第 251 回 O.C.C.

- 日 時** 2022 年 11 月 5 日（土）14：00～17：00
会 場 第二吉本ビルディング（〒 530-0001 大阪市北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー 8 階）
テーマ 緑内障診療 2022（仮）
連絡先 大阪大学大学院医学系研究科眼科学教室 Tel. 06-6879-3456 Fax. 06-6879-3458

第 20 回近畿弱視斜視アフタヌーンセミナー

- 日 時** 2023 年 2 月 18 日（土）14：00～18：00
会 場 千里ライフサイエンスセンター 山村雄一記念ライフホール
北大阪急行電鉄（地下鉄御堂筋線）千里中央駅北改札口 1 分
テーマ 弱視・斜視の基礎と最新情報シリーズ 弱視・斜視の基礎・臨床と最新情報—その 5
プログラム 講演
「急性内斜視の診断と治療」木村亜紀子（兵庫医大）
「外斜視手術効果の持続性」野村耕治（兵庫県立こども病院）
「弱視の診断と治療時期」初川嘉一（大阪母子医療センター）
「乳幼時眼科健診」杉山能子（金沢大）
ワークショップ「レチノスコピー」全メンバー
会 費 医師 3,000 円・非医師 1,000 円
主 催 近畿弱視斜視研究会（遠藤高生，不二門尚，木村亜紀子，雲井弥生，初川嘉一，稗田 牧，三宅三平，森本 壮，村木早苗，野村耕治，近江源次郎，佐々本研二，白井久美，菅澤 淳，杉山能子，築留英之，内海 隆，横山 連）（以上 18 名・ABC 順），参天製薬株式会社
事務局 内海 隆（医療法人内海眼科医院 Tel. 072-626-1223）
おことわり コロナ禍の状況によっては Zoom 開催に変更したり，ワークショップが教育ビデオ視聴に変わることがあります。判明次第，案内させていただきます。